

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	エイリアス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：エイリアス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

軌道を参照して下さい。

比較対照ボール：パラドックス・ブラック

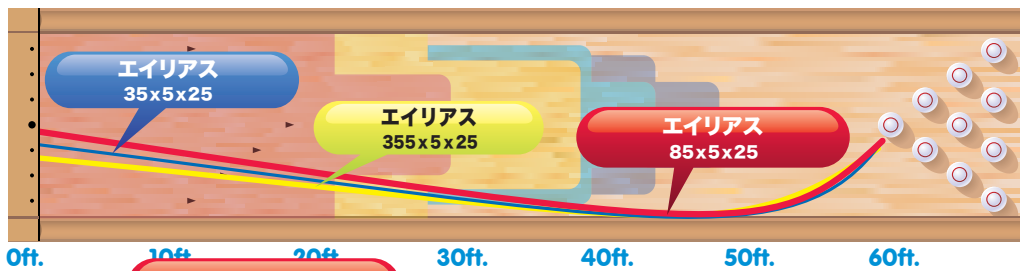
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

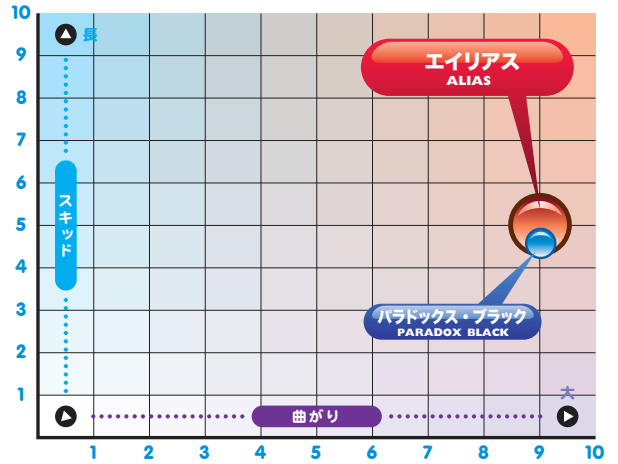
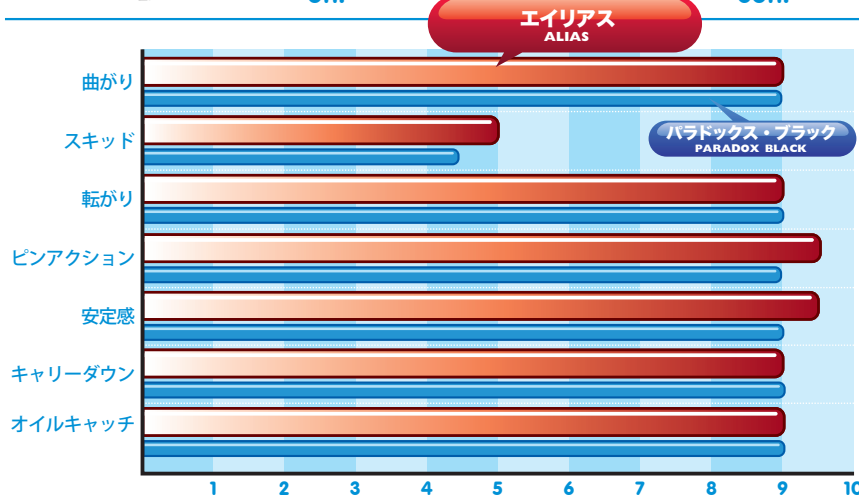
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

2017年11月、ABSボール開発チームとEBI (EBONITE INTERNATIONAL) との合同テストの中でボールを脱いだTRACK社最新作のALIAS。新開発されたALIAS CoreはAsymmetryの基本構造にあってSymmetryのレイアウトまで選択できる、言わばボウリング界でのドリルレイアウトに新たな息吹を吹き込むボールと言えるでしょう。コアのメインパーツはI-coreをベースに開発され、Y軸とZ軸の比重を変えました。そのY軸とZ軸を故意にバランスさせることによりレイアウトを変更するだけであらゆるMBが可能となっています。これにより今までに得ることができなかったボールの動きや形が生まれます。

CoverstockはTRACK社の中で一番メリハリ感を得られるQR Coverstockを進化させた、オイルの吸油性が高く、かつドライエリアでの急激なグリップが特徴の新開発のPrime Hybridを搭載し、TRACK史上最も多様性に優れたHighPerformanceボールに仕上がりました。ALIASをドリルするにあたり、私はEBIからドリルレイアウトを指定されました。3つのレイアウトのうち一つは普段私がテストングするレイアウトと若干の変化で戸惑いはありませんでしたが、そのほかの二つはいまだかつてこのようなレイアウトで投球したことのないもので、一つは85×5×25でマスパイアスのマーキングがサムの上に来ます。もう一つは355×5×25で、ほぼPAP付近にマスパイアスのマーキングがきます。

各々Pin PAPは5インチのセットでIntDiffを0.001、0.015、0.025へと変化させられることで、それぞれに特徴が生まれ、今までのボールよりも性能を出せる幅が広がっていると感じました。それに物理的フリクションまでを加えることでスピードが速いボウラーから回転数が多い方まですべてのボウラーが見合うレイアウトでALIASを投球できると思います。

特記事項

TRACK社最新作は意図的に非対称コアを対称コアにして使用できる、今までのドリルレイアウトの可能性を大幅に広げることのできるボールです。